

白浜レスキューネットワーク通信 10月号  
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8  
TEL&FAX0739-43-8981  
<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>  
e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

10月1日～10月31日

電話件数 81件

保護件数 8件(男性4人、女性4人)

帰宅件数 4人(男性2人、女性2人)

自主退所 1件(男性1人)

○12日、警察から電話があり50代の女性を保護した。コンビニで万引きをしようとしているのが見つかり、店の人が通報した。昨年90代の母親が他界した。今までは母親の軍人恩給で生活していたため、経済的に厳しくなった。白浜へ職を探しに来ていた。コミュニケーションに難があり、精神的な病気も疑われる。共同生活に加わり、行政とも協力して今後の方向性を決めていく。

○13日、三段壁から電話があり、70代の女性を保護した。3、4年前にも一度保護したことがある人だった。その当時のご主人が迎えに来てくれたが、昨年他界してしまったという。精神的な病気があり、近所の人が自分に対して不満をもったり、悪口を言ったりすると、事実でないことを思い込んでしまうため、なかなか一人で生活するのが難しいようだ。共同生活に加わるようになった。

○16日、新潟からきた40代の男性を保護した。以前にも一度見学に来たことがあり、相談を受けていた。1人で生活している中でうまくいかないことが多くあり、心機一転を図りたいと、アパートを解約して出てきた。農作業や共同生活に慣れるため頑張っていたが、29日出て行ってしまった。

○17日、三段壁から電話があり、30代の女性を保護した。精神的な病気を抱えていた。話をしている中で落ち着き、翌日帰宅した。その後

も電話で相談を受けている。

○21日、以前から関わりのある70代の男性がまた突然訪ねてきた。近くで知り合ったという男性を連れてきて、二人とも保護することになった。70代の男性が道路で転び、救急車で運ばれた、幸い大した傷ではなかった。一緒に来た男性は生活に困っており、共同生活に加わり、就職活動をしていくことになった。

○23日、三段壁から電話があり、20代の男性を保護した。家族と連絡を取り、一度は帰宅を決意したが帰れず、翌日再び三段から電話があった。話をしていく中で落ち着き帰宅した。

○30日、三段壁があり、30代の女性を保護した。保護に向かった時には、すでに家族から連絡を受けていた警察が保護しており、一旦一緒に警察署へ向かった。家族が遠方に住んでいたため、迎えに来るまでの間、保護することになった。4人姉妹の3番目で、いろんな意味で生きづらさを覚えていた。軽度の発達障害であるとの診断も出ており、年齢にそぐわない幼さがあった。家に帰りたくないと言っていたが、「いつでも電話してきていいから」と約束をして、翌日送り出した。姉と妹が迎えに来た。

### 生活自立支援活動

10月1日～10月31日

滞在者数 16人(男性13人、女性3人)

帰宅者数 1人(女性1人)

○うちから自立し、豆腐屋で働いていた男性が、突然住んでいたアパートからいなくなってしまった。飛び出したのは2回目で、以前はなんとか戻ってくることはできたが、今回は戻ってくることはなく、アパートの解約、片付け等を

した。残念でならない。

○先月保護し、旅館で皿洗いを始めた女性は、毎日続けて通うことができた。北海道の役場から問い合わせがあり、生活保護の打ち切りと、離婚の手続きをすることになった。

○先月保護された50代の男性は、車の配送関係の仕事の面接を何社か受けたが、どれも不合格だった。10月の中旬からまちなかキッチンに加わるようになった。不器用なところがあり、皆に注意されつつもひたむきに頑張っている。

○今月保護された70代の女性は、息子、娘と相談し、今後の方向性を話しあうことになった。子どもの仕事の予定が合い、26日に帰宅した。

○8月末に保護された男性は、耳の調子が思わしくない時があり、2日ほど起きてこられない時があった。病院に通院しながら、年末に手術が行えるよう調整している。まちなかキッチンの配達や農業にも携わって元気な時には積極的に取り組んでいる。

## 自殺予防活動

### ・放課後クラブ「コペルくん」

今月も毎日10人前後の子どもたちが集まった。10月末に郡の陸上競技大会があり、高学年の子は放課後遅くまで練習に取り組んだ。帰ってくるのが17時を回る日も多く、それから1時間集中して宿題に取り組んだ。

夏から来始めた三つ子は、コペルくんに着席してきた。「ただいまー」と駆け足で帰ってきて、「宿題するぞー」と上の部屋にあがっていく。小学校の校長先生にも、「最近落ち着いてきました。コペルくんのおかげです」と、お褒めの言葉を頂いた。

毎日子どもたちと関わる中で、子どもたちにとって、信頼できる大人であるということ、悪いことは悪いと壁になるということを考えさせられる。また改めて、子どもの持つ力は大きく、関わる大人たちにとっても毎日癒されたり、気づかされたりと本当に良い刺激を与えてくれるものだと感じている。



### ・相談電話

7日、14日、21日、28日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

### ・まちなかキッチン

人手不足の状態が続いていたが、こういう時だからこそ、今までの見直しを行ったり、新メニューを加えたりと皆で協力しつつ取り組んでいる。惣菜の移動販売の販路を拡大し、400円で惣菜詰め合わせの販売も始めた。お年寄りの家庭に電話で注文を受け届けている。

### 1\*NPO社員総会

来月22日に、第12回の年次総会を行う。今年度の事業報告と来年度の計画について協議を行う。またNPO促進法の改定に合わせ、定款の変更についても協議する予定だ。

### 今後の講演予定

11月13日：神戸女学院で講演

11月14日：和歌山精神科医師会で講演

11月20日：倉敷市保健所で講演

11月30日：近畿大学で講演